

研修テーマ

No.406 「スタッフが看護を語れる職場をつくるために」

開催日時 令和5年9月21日 10:00~16:30 / 会場 兵庫県看護協会会館 研修室3\*

講師 訪問看護ステーション神戸なごみの家 藤原由佳先生  
支援者：おおまえホームクリニック 塩川ゆり先生  
北播磨総合医療センター 篠崎智子先生

受講者数 24名



#### ■ プログラム

- ・看護を語ること
- ・看護を語る（GW）
- ・看護を語ることができる職場づくり
- ・スタッフが看護を語ることができる職場づくり（GW）

#### ■ 受講者の声

- ・自身のビジョンを描き語ること、看護を語ることで目指すべき方向は何かを改めて見つめる機会になった。
- ・どう現場で時間を作って行くか考えないといけないが、看護の質を向上させるためにもぜひ実施したい。
- ・自部署で始めるための知識がついた。
- ・語ることや聴くことの意義について理解できた。
- ・何かしらアクションを起こしたいと思います。自分のビジョンを明らかにできました。

#### ■ 担当者からコメント

臨床の場で看護を語る機会が減少しているといった声を聴くことがあります。今回の研修では、管理者自身が看護を語ることの体験を大事に構成して頂きました。看護を語る中では、語り手だけでなく、聴き手が重要であることを受講者は学んでいました。語りのワークでは、無知の姿勢で聴くことや相手の語りを促進するような質問をすることの難しさを体験しました。そして、職場の中でどのような取り組みができるか講義だけでなく、グループワークを通して考えることができた研修でした。